

就農者をサポートする研修用いちごハウスの整備

- 地域農業における後継者不足と遊休農地の解消を図るため、平成24年に「JA伊勢」が100%出資し、独立新規就農者の育成と「JA伊勢」管内の主要農産物の生産を行う「株式会社あぐりん伊勢」を設立した。
- 令和4年度にサポート体制構築事業を活用して、いちごの研修用ハウス25aを整備し、研修生のサポート体制の強化を図った。
- 研修用ハウスは、独立就農後の研修生にリースで貸し出すことで、就農時のイニシャルコストを大幅に軽減することが可能となった。
- 株式会社あぐりん伊勢ではこれまでに18名の独立新規就農者を輩出している（令和8年3月現在）。

【位置図】



取組前

- ガラス温室20aとビニールハウス17aで研修生の育成と生産を行っていたが、ガラス温室は令和4年から研修修了後の独立就農者に貸し出す予定で、今後、研修生を受け入れるためには施設面積が不足していた。

取組内容

- 2名の就農希望者が研修できる施設として、25aのハウス及び内部設備、育苗ベンチ、集出荷作業用ハウスを整備した。



取組後(成果)

- 整備した研修用ハウスで2名の研修生を育成し、研修修了後にそのハウスをリース契約してスムーズな独立就農につなげた。



【サポート体制】

- ①株式会社あぐりん伊勢
研修場設置、栽培管理研修
- ②JA伊勢
農地斡旋、融資資金貸付、営農指導、生産物販売
- ③伊勢志摩農業改良普及センター
就農計画・経営改善計画・営農経営指導
- ④伊勢市
就農計画・就農相談窓口、住居斡旋

新規就農者や研修生の声

- 独立就農時に研修用ハウスをリースできたことで、イニシャルコストの軽減だけでなく、スケジュール的にも余裕ができたため、スムーズに1年目の生産に入ることができた。
- 研修中に使用していたハウスを、独立就農後も引き続きリースできたため、温度管理などの要領を既に把握しており、安定した生産を実現できた。

サポート体制構築事業 活用年度：令和4年度

【問合せ先】伊勢農業協同組合 営農部
TEL： 0596-67-2033 （FAX 0596-67-2032）